

大人への第一歩を踏み出した芝山町の新成人



99名が迎えた 新たな門出

the beginning of a new phase of life

穏やかな冬晴れの空が広がる1月10日。芝山町成人式の会場となった芝山文化センターには、華やかな衣装に身を包んだ72名の新成人が集まりました。会場への入り口付近では、手を振りながら友人に駆け寄る姿や、携帯のカメラなどで記念写真を撮る姿が見られ、あちらこちらで再会を喜ぶ笑顔が咲いていました。午後2時から始まった式典では、来賓や恩師の先生方からお祝いのことばが送られました。相川町長は式辞にて「皆さんの人生は今始まったところです。無限の時の流れのなかで、限りある人生をいかに生きるかを考え、新しい時の流れに対応してください。そして、この芝山の

20歳という区切りを迎えた皆さんに「謙虚さ」という言葉を贈りたいと思います。それぞれ生きていくかたちは違いますが、謙虚さや、真心を忘れないでください。また、10代は自分と周りの仲間のことを考えれば良かったと思いますが、これからは、もう少し範囲を広げ、家族・社会・町に目を向け、配慮してほしいと思います。辛く厳しいこともあると思いますが、良い事もきっとあります。健康にたくましく生きてください。



「贈ることば」

足立 康幸先生

芝山中学校を卒業した日に起きた東日本大震災。連日続く被害の報道に、不安や恐怖を感じていた私も、もう誰かを支えられる大人になりました。これからは、今までたくさんの愛情を持って育ててくれた家族、温かくご指導くださった地域の方々などを支えられる、責任感のある大人になっていきたいです。2020年に開催される東京オリンピックをはじめ、芝山町を、日本を担って活躍できるように日々精進していきたいと思



「誓いのことば」

小川 比菜乃さん

成人式 *coming-of-age ceremony*



地に残り、地域社会や町づくりに、ぜひ参画していただきたいと思えます」と、新成人への期待と激励のメッセージを述べました。

第2部は、毎年恒例となった「思い出のスライドショー」。中央のスクリーンには、学生時代に行われた合唱祭や入学式、卒業式などの写真が映し出されました。会場は、当時は懐かしむような温かい眼差しで包まれ、一人一人が、鮮やかによみがえる日々に思いを馳せているようでした。

また、新成人のなかから選出された「成人式実行委員」12名が、式典の受付や司会進行、スライドショーの編集などを担当。昨年7月より打ち合わせや事前準備を行い、陰で式典を支えま

した。

20歳^{はたち}という大きな節目を迎えた新成人。無限の可能性と、大人への第一歩を踏み出した喜びを胸に、より一層輝く姿がそこにはありました。



お世話になった恩師との再会

恩師の先生紹介（役職は当時のもの）

○芝山中学校

校長 加瀬 博幸 先生
主任 足立 康幸 先生

3年A組担任 佐瀬 貴弘 先生

3年B組担任 江波戸直希 先生

3年C組担任 寺本 慎吾 先生

○芝山小学校

校長 鷗沢 和夫 先生

6年1組担任 小川 重之 先生

6年2組担任 浅井利恵子 先生

○東小学校

校長 木川 秀俊 先生

6年担任 廣瀬 恵美 先生

○菱田小学校

校長 宇都木 朗 先生

6年担任 伊藤 寿子 先生